



## スキー場諸元

名称：交通銀行耀雪冰雪世界

総面積	3.9 ha
コース数	3本
標高差	約60 m
最大斜度	26度 (Black Trail)
リフト総延長	約600 m
リフト数	3基(屋内2基, 屋外1基)
事業者	上海陆家嘴(集团)有限公司 上海港城开发(集团)有限公司
所在地	上海市浦东新区沪城环路2088弄 1-5号



## “世界最大” 屋内スキー場

上海臨港新区の滴水湖(人工湖)のほとりに2024年9月に誕生したアルプスをテーマに設計された世界最大の屋内スキー場(世界最大の屋内スキー場としてギネスにも登録済み)。施設は屋内スキー場・3つのホテル・スケート場・ウォーターパーク・商業施設が併設され90,000平方メートル以上の施設面積をもつ上海ディズニーにも負けず劣らずの非常に大規模な施設となっている。屋内スキー場の室内は真夏でも-3~5℃に保たれ、中国初の屋内列車(雪国列車),4人乗りリフト(クウッド)と8人乗りゴンドラを備え乗り物好きも楽しめる施設となっている。コースは3本の全長1.2kmであり、一本のコースは約400m程度で最大斜度は26度。スキー・スノーボード用のゲレンデ以外にも、約20のスノーアクティビティがあり滑走を楽しめない方も雪の世界を楽しむことができる。中国ではスキー場数が少ないため初心者の比率が多く、自分で板のコントロールができない俗に言う“魚雷”が多発している。そのため、スキーコースの分岐・合流点・上部滑り出し部には、多くのパトロール員が配置され場内は安全に滑ることができる。入場券はレンタルセットで410CNY~と少々高め。また、野外屋上には建物間の移動用にパルスゴンドラが設置され、ホテルと屋内スキー場を結んでいる。

# コースマップ



## 阿尔卑斯之巅 Top of the Alps

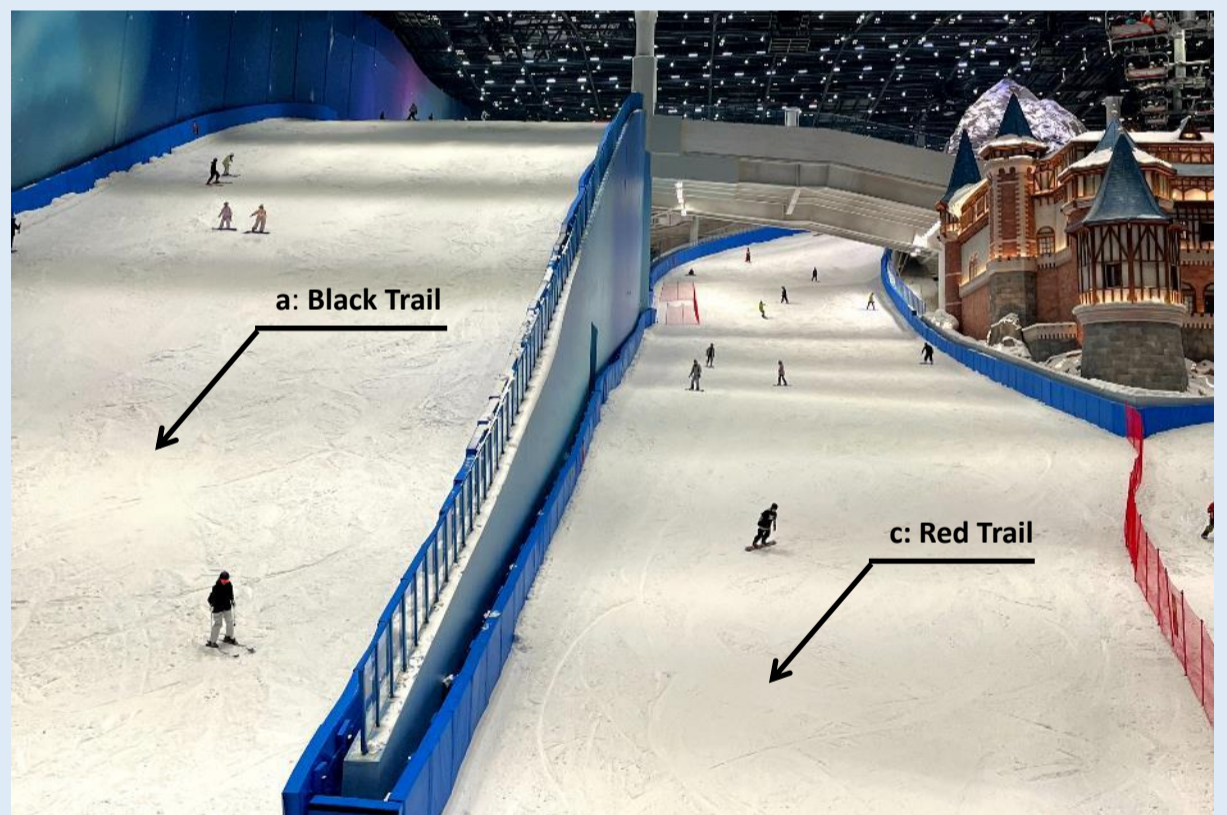
- ◆ 黑道 Black Trail
  - 蓝道 Blue Trail
  - 红道 Red Trail
  - 1 飞雪缆车 Fluttering Snow Chairlift
  - 2 雪山缆车 Snow Mountain Gondola
- 
- S 滑雪礼宾部 Ski Concierge
  - S 滑雪套房 Ski Suites
  - E 手扶梯 Escalator
  - E 直达电梯 Elevator
  - + 医务室\* First Aid\*

\*运营室根据每日运营安排开放  
\*Open status is subject to operational need.

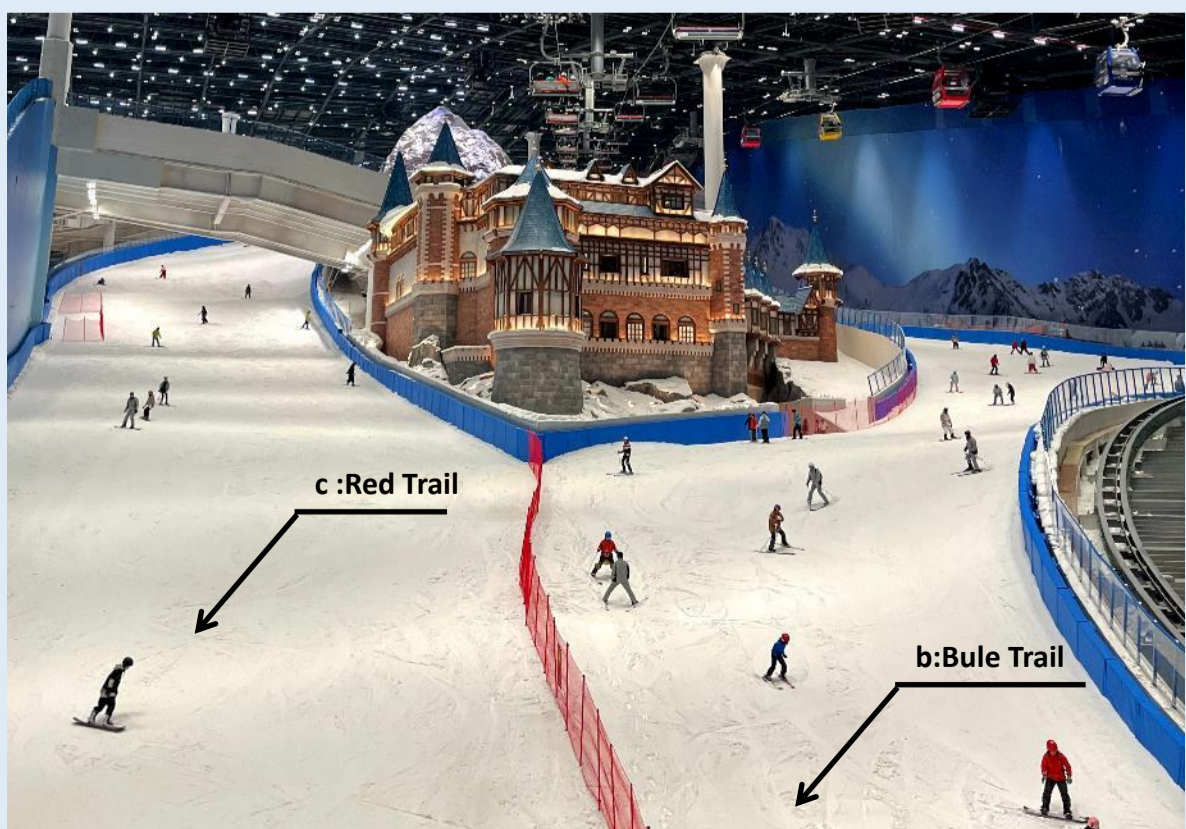


▲a:Black Trail

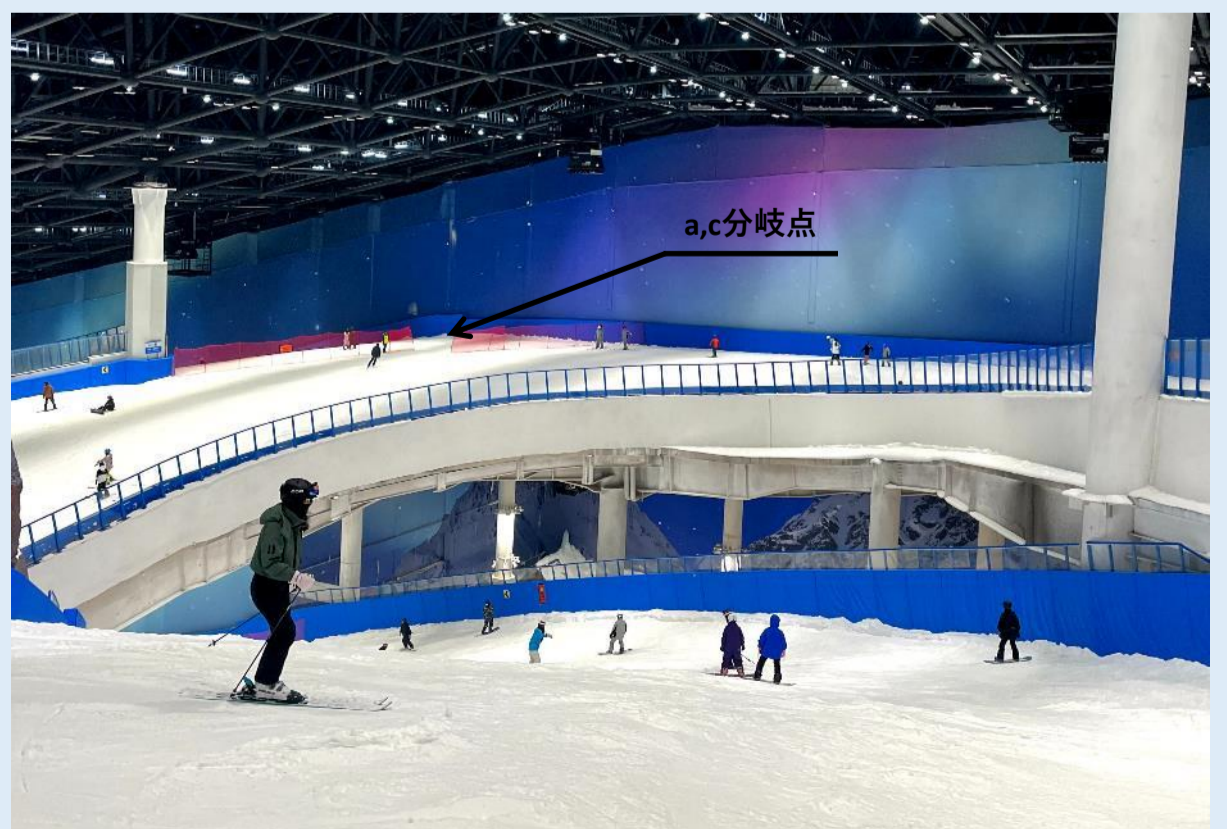
最大26度と屋内スキー場ではかなりの斜度がある



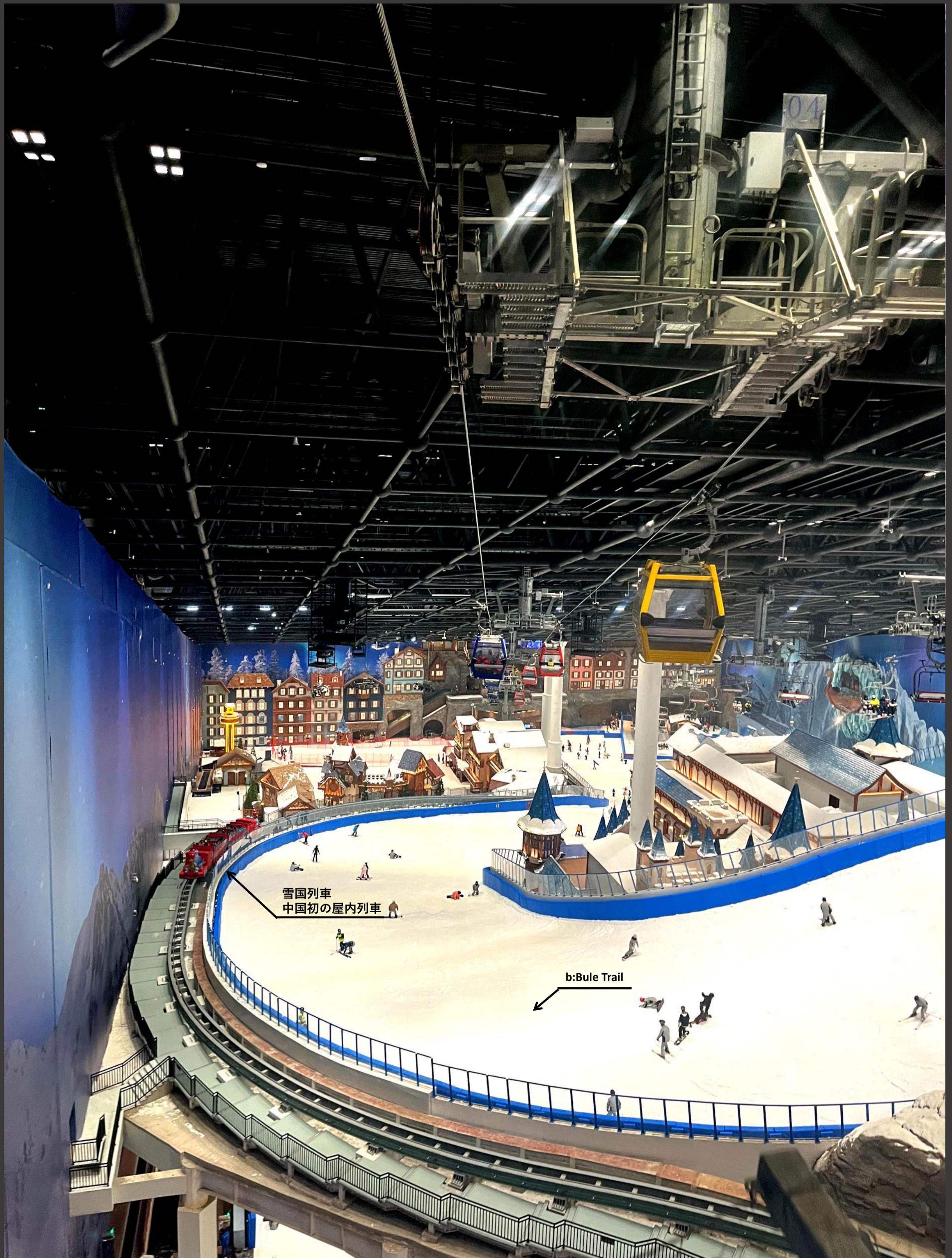
▲aとcコースとの合流点



▲bとcとの合流点

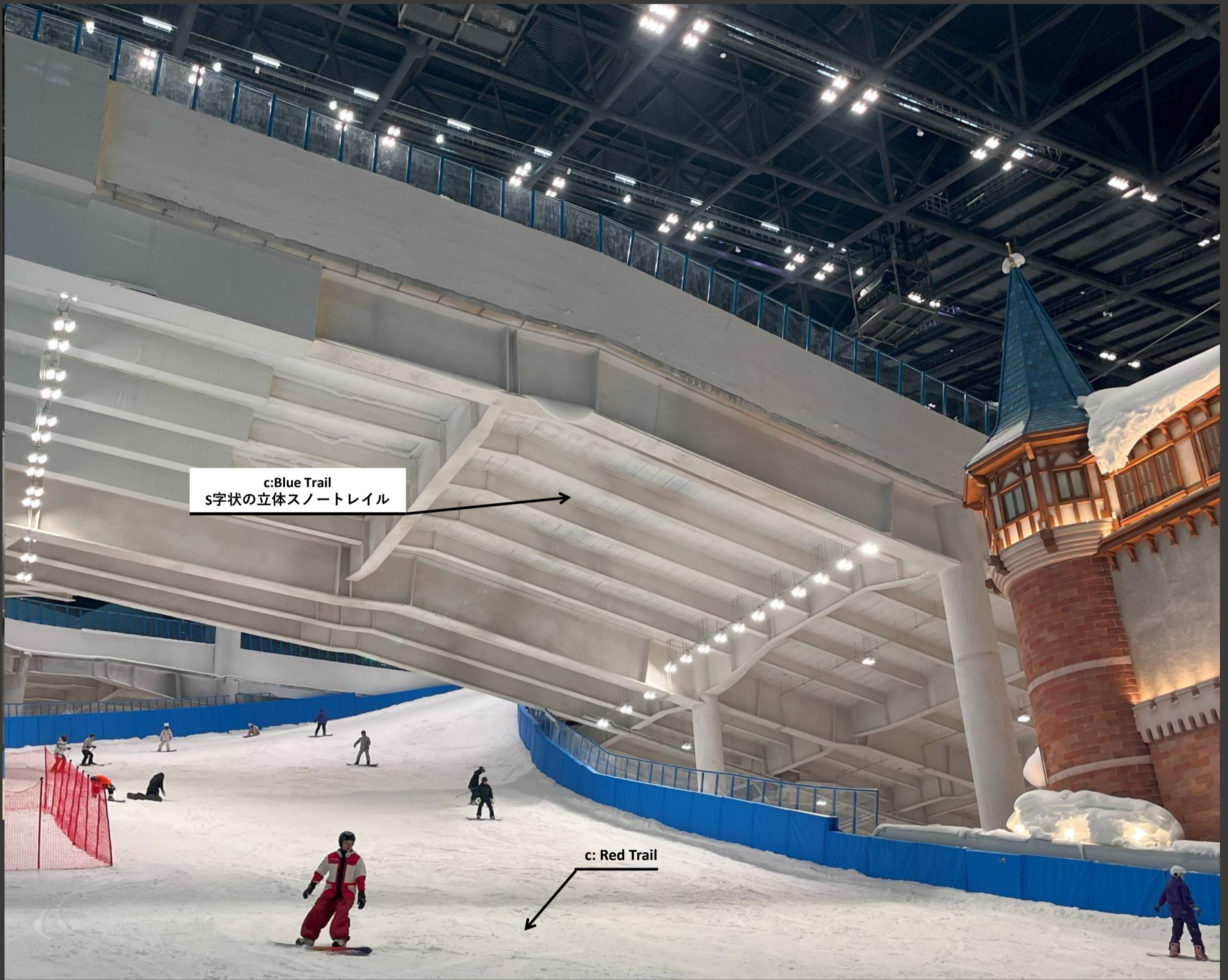


▲c:Red Trail



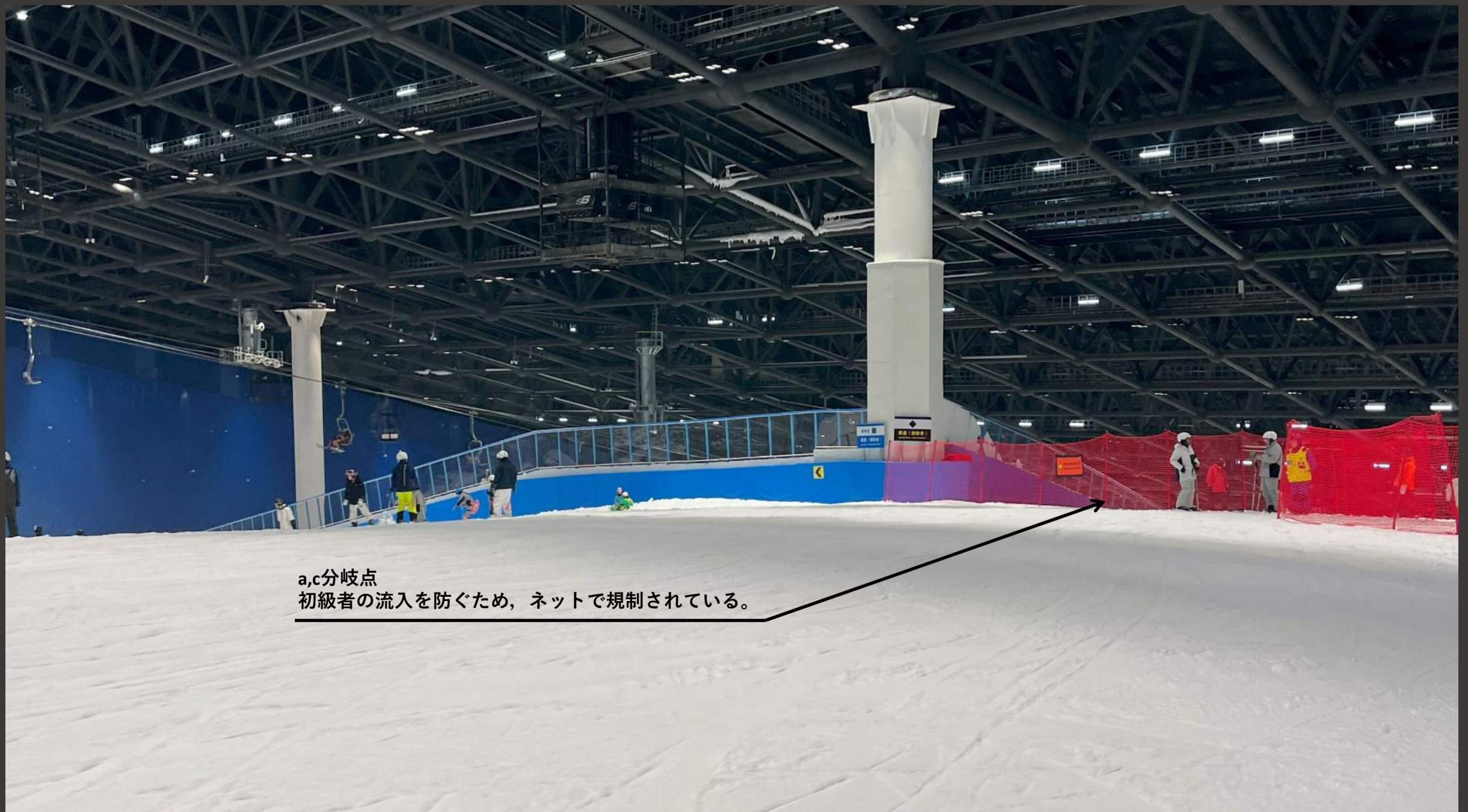
雪国列車  
中国初の屋内列車

b:Bule Trail



c:Blue Trail  
S字状の立体スノートレイル

c: Red Trail



a,c分岐点  
初級者の流入を防ぐため、ネットで規制されている。









## 軍艦のような巨大建造物

临港大道駅を出るとすぐに軍艦のような巨大施設が現れます。建物はコの字状になっており上部画像の向かって左側に屋内スキー場とホテル、右側にホテルがあります。建物間の屋上を行き来するために、パルスゴンドラが架けられています。

施設周辺はほぼ何もなく、建物の外観は氷河を意識したと思われるブルー基調のデザインで存在感があります。



▲建屋外観



▲屋内スキー場側



# 建物外観

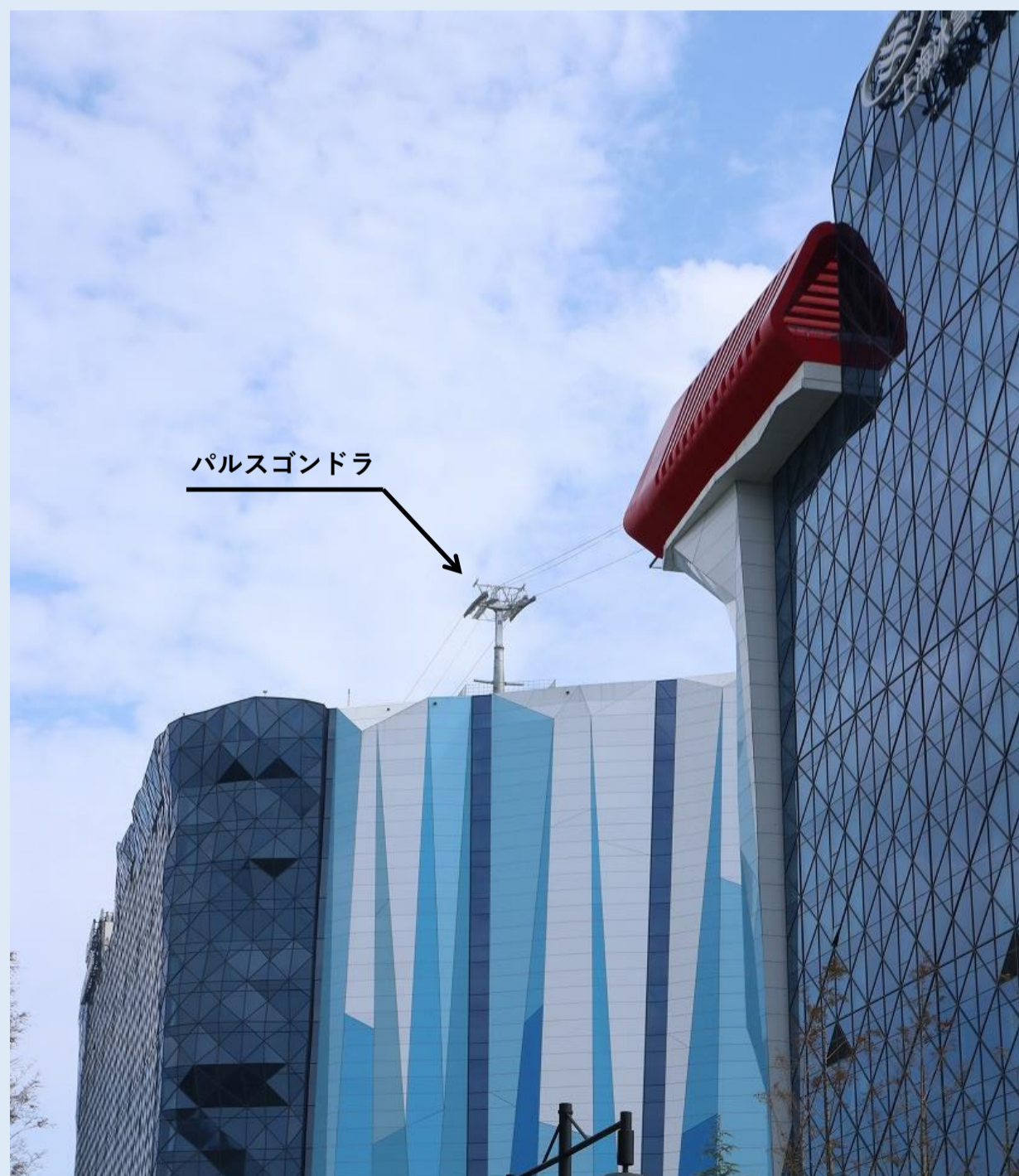


▲施設中庭

スノーボード用品の販売店やカフェが連なる。中国経済失速の影響なのか土曜日なのにもかかわらず人まばらだった



▲雪世界(屋内スキー場)入口



パルスゴンドラ

▲建物屋上に架けられたパルスゴンドラ



▲青を基調とした建屋デザイン

▼パルスゴンドラは3つ搬器連結のPOMA社製(今回未乗車)。ホテル宿泊者用と考えられ運行頻度は低い。



支柱：スポーク式であり一つあたりの索輪重量が軽いため索輪が多い



1F MAP



入場から滑走までの流れ

スキー場へは1Fにある入口を通り、外国人の場合はまず①でパスポートを見せて入場券を受け取る必要があります(中国の方は身分証明書で入場ができます)。入場券を受け取ったら、改札を通過して入場することができます。スキー・スノーボードをする方は、④のロッカー室で着替えて出入口Aから入場するとゲレンデに行くことが

できます。レンタルが必要な方は、②でウェアとブーツを③で滑走用具とヘルメットをレンタルします。ちなみにヘルメットは必須で被らなければなりません。手袋はレンタルできないので持参する必要があります。



▲雪世界の入口。大きな丸いビジョンが目印



▲①ゲストサービス

# フロアマップ

## 入場から滑走までの流れ



▲入場改札口



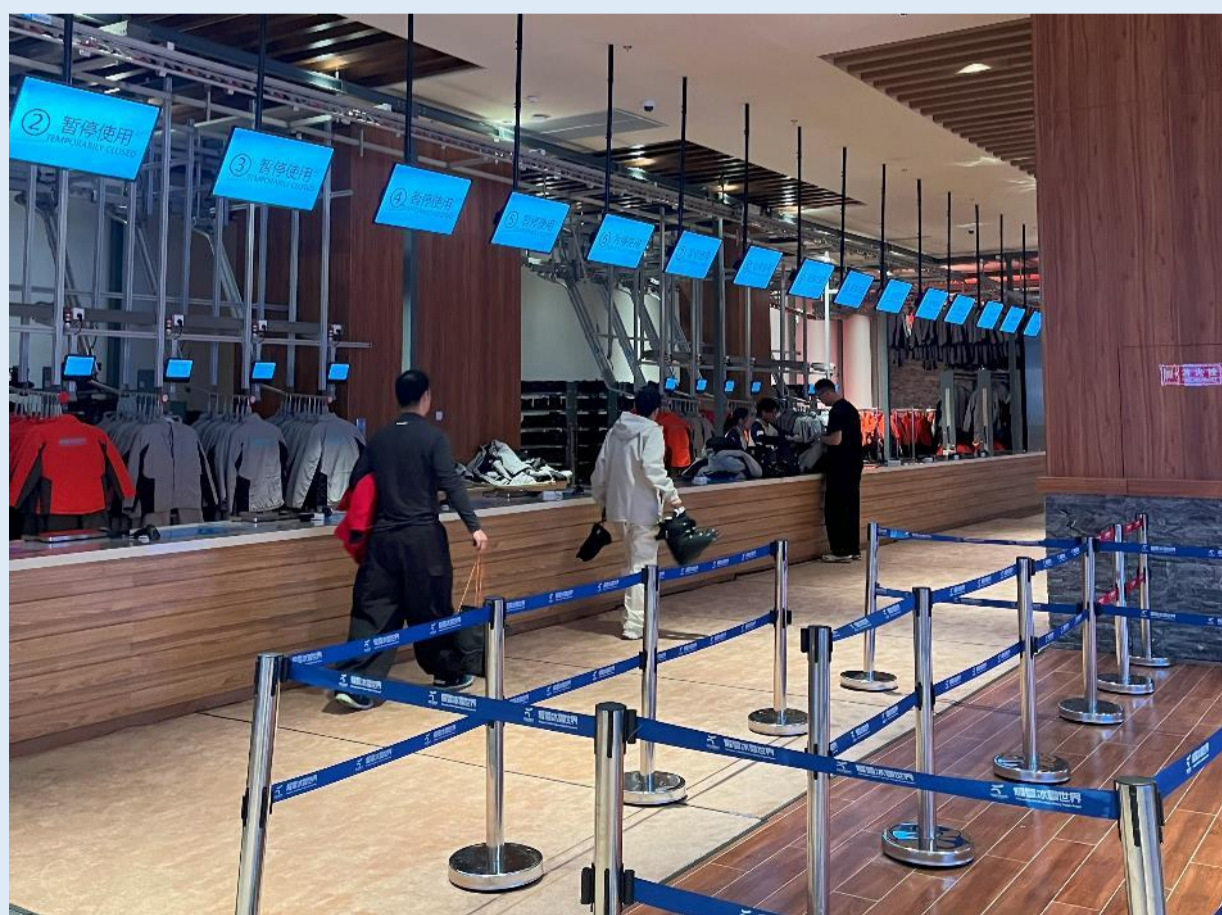
▲⑤POW POW CAFE



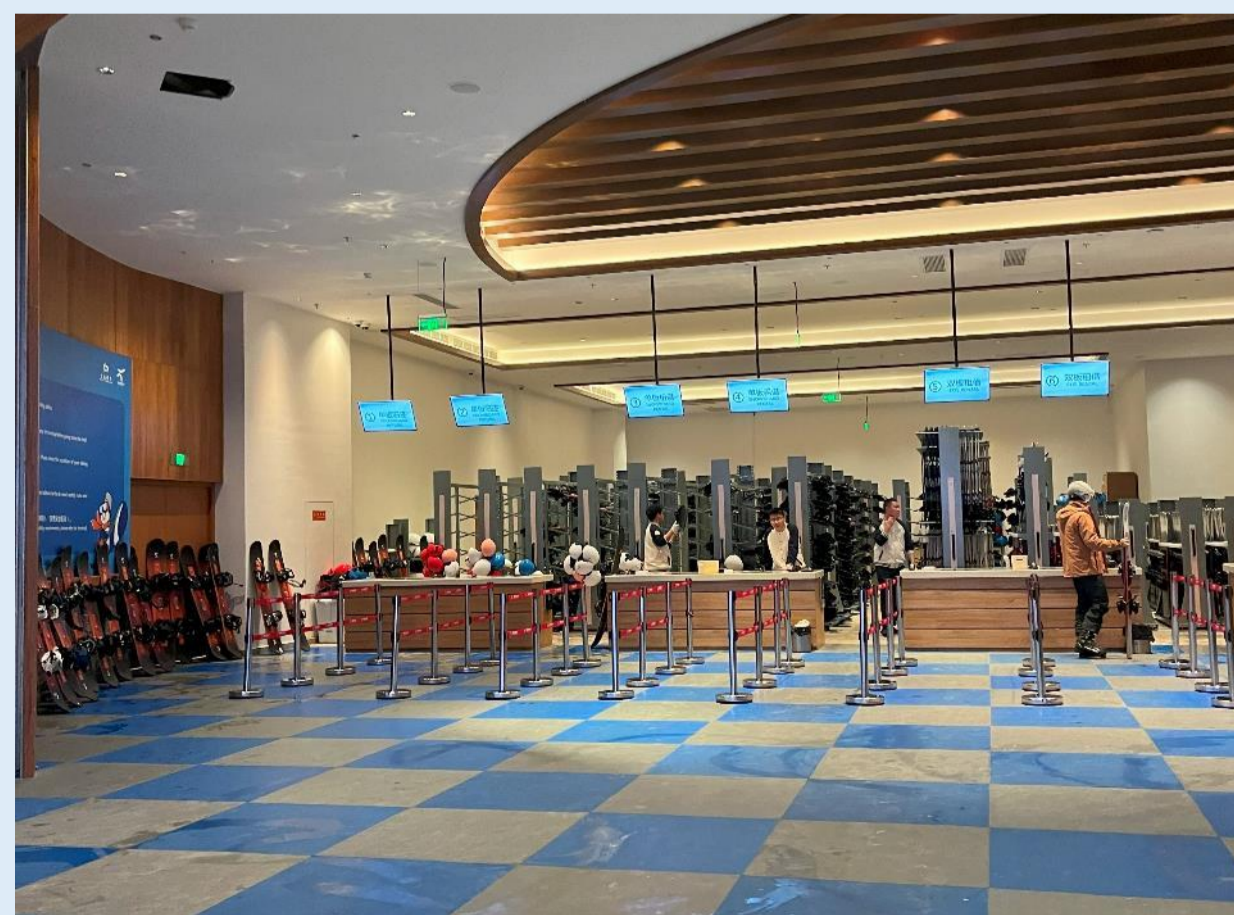
▲④ロッカー  
アリペイ or WeChatで利用できる。



▲1Fフロア



▲②ウェア・ブーツレンタル  
初めにスキーorスノーボードどちらにするかを聞かれる。



▲③滑走用具・ヘルメットレンタル  
ヘルメットを持っていない方はここでレンタルする。

# 雪世界 Snow World

阿尔卑斯之巅  
Top of the Alps

5F 勃朗大本营  
Base Camp Blanc

3F 欢乐雪域  
Happy Snowfield

2F 上海耀雪滑雪学校  
耀雪俱乐部  
L+Snow Sports Academy  
CLUB-S

1F 极光小镇  
Aurora Village



## スノーアクティビティも楽しめる巨大施設

施設は計5F建て(16階相当)で、ホテルとも連絡している非常に豪華な作り。ゲレンデは1Fがボトム(出入口)で5Fがトップです。スキー・スノーボード以外にもスノースライダーなどスノーアクティビティも大変充実しており、ファミリーで楽しめる施設に

なっています。スノーアクティビティの施設は3Fにあり、1Fからエスカレータまたはゲレンデに出てから室内にある列車に乗っていくことができます。



▲1Fの雪遊び広場



▲3Fのスノーアクティビティエリア  
ゲレンデの下にある面白い構造になっている。

# フロアマップ



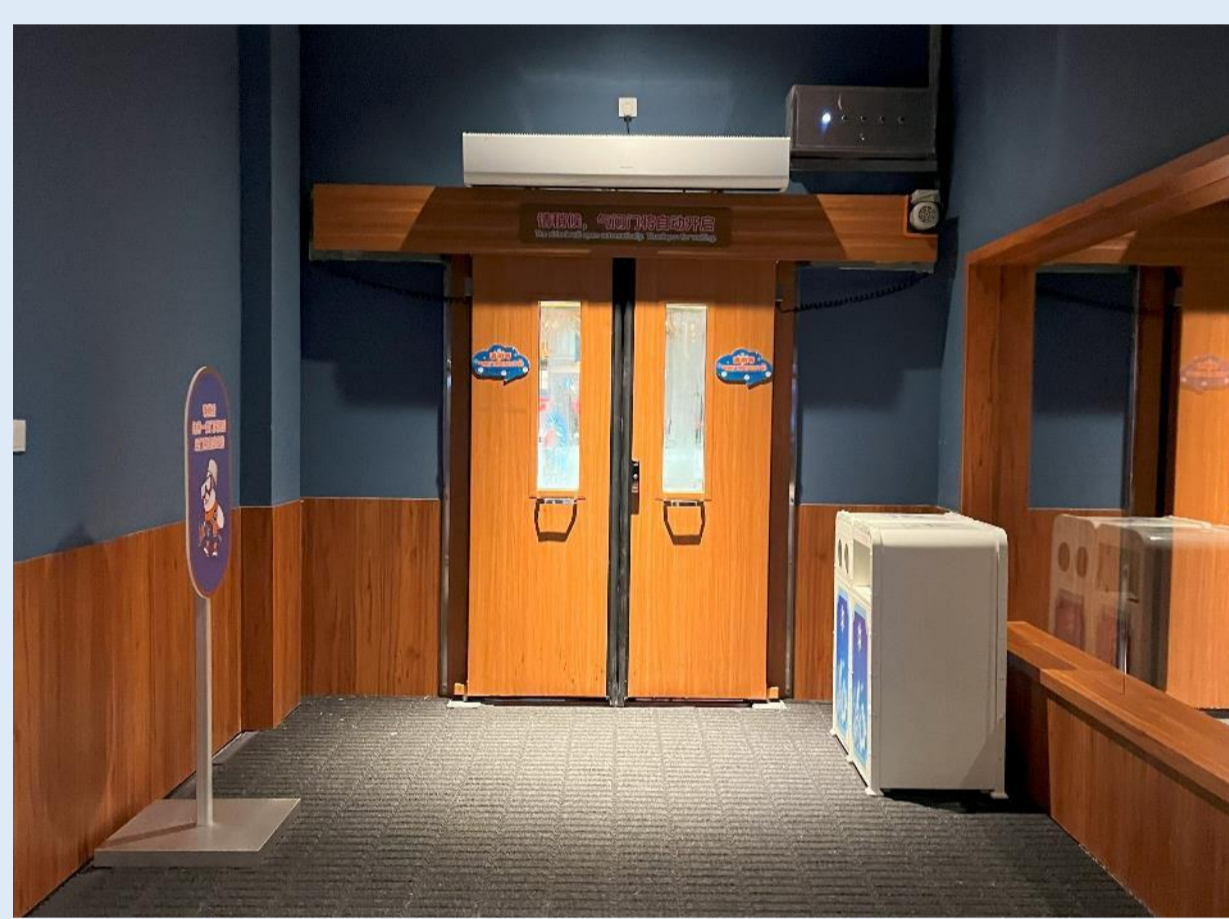
▲カードタイプの入場券



▲レンタルした用具一式  
(ウェア・ヘルメット・スキー一式)



▲出入口B(雪遊び広場出入口)



▲ゲレンデ入場扉  
スキー場内の冷気を逃がさないために扉は二重にあり、一方の扉が閉まってからもう一方の扉が開く。



▲雪国列車1F入口  
列車はここから3Fのスノーアクティビティ階までを結ぶ。



▲雪国列車

# リフト券の購入方法

## ■WeChatを使う方法

現地であまり話したくない私はWeChatで購入する方法を試しました。購入方法はそこまで難しくありませんが、中国の電話番号がないと購入できないのがネックです。中国の電話番号はeSender（易博通）[中国の電話番号を発行してWeChatのメッセージ上でSMSを受け取ることができるサービスです]などで、一週間無料で利用できるのもあります。



▲①



▲②



▲③

## ■リフト券値段

リフト券は4時間券と1日券があり、日・祝(繁忙日)と平日・土で価格が異なり、詳しくはWeChatの公式ページから確認することができます。私の場合、4時間と一式レンタル付きで410CNY(8,800JPY程度)でした。4時間券+レンタルの値段は、繁忙日で13,000JPY程度、1日券+レンタルで16,000JPY程度です。



▲4時間券



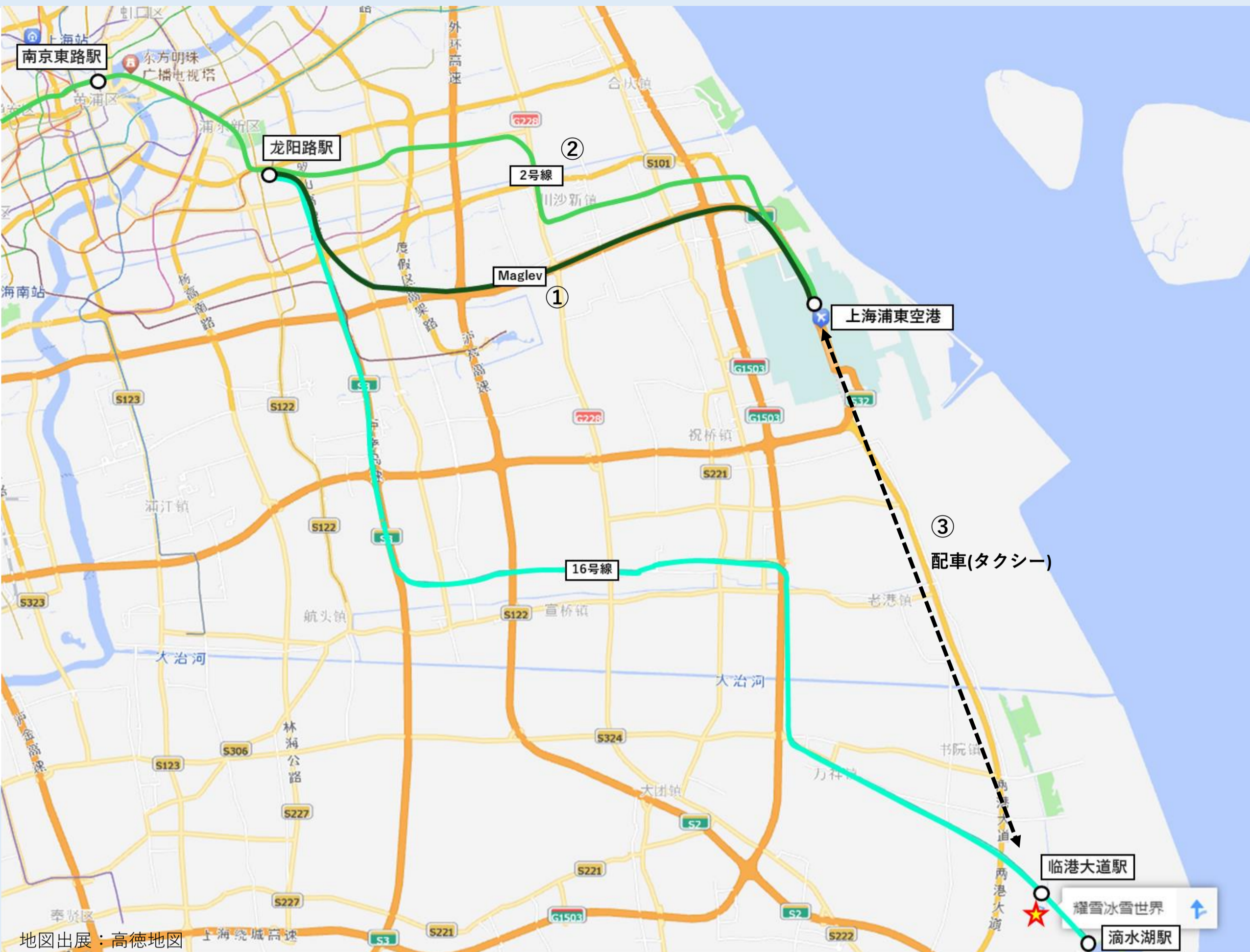
▲1日券



▲改札口

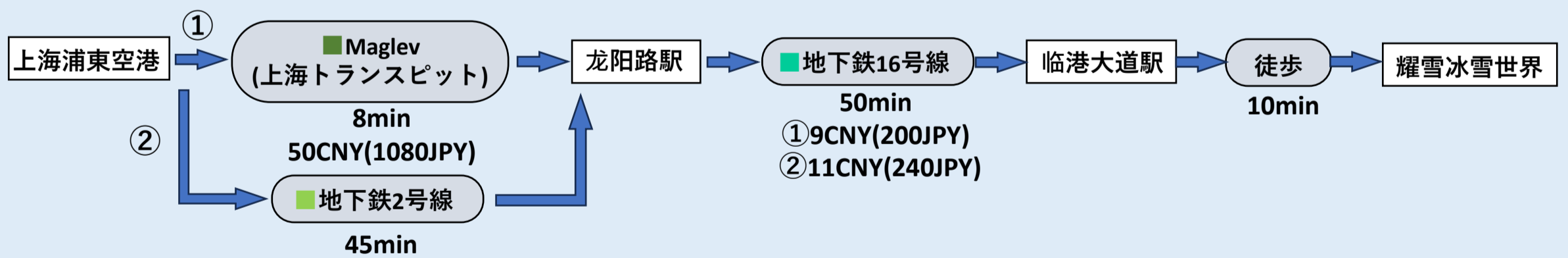
改札はリフトごとではなく、ゲレンデ出入口(出入口A)にある。

# アクセス情報

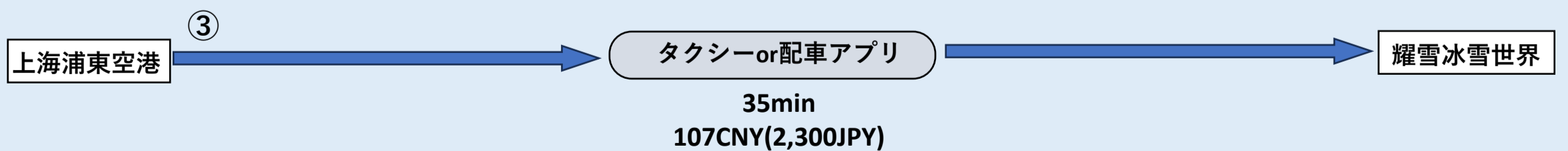


## ■公共交通機関を利用する場合

公共交通機関を利用する場合は、上海リニア(Maglev)を使うルートと地下鉄2号線を使う2パターンあります。



## ■タクシーor配車アプリを利用する場合

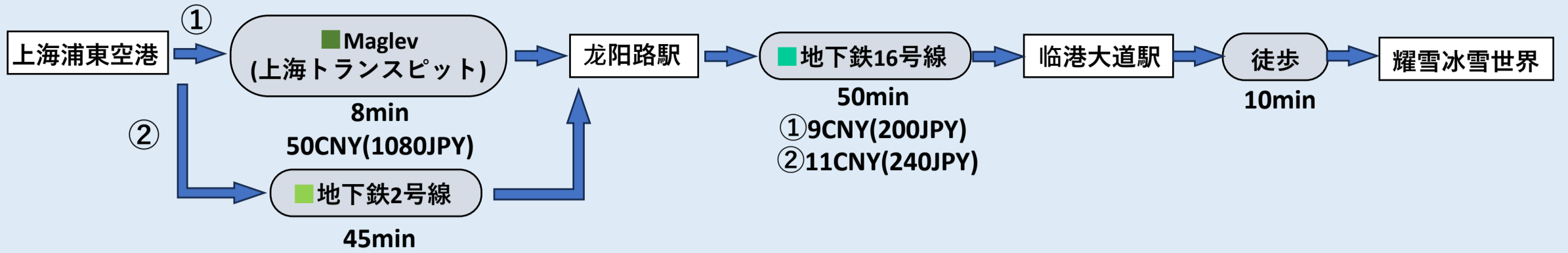




# アクセス情報

## ■公共交通機関を利用する場合

公共交通機関を利用する場合は、上海リニア(Maglev)を使うルートと地下鉄2号線を使う2パターンあります。



まず、上海浦東空港(浦東：プドンPudongと読みます。中国の駅名はほぼ漢字ですが日本語読みは通じないので、中国語読みを覚えた方が良いでしょう。)からの公共交通手段は、上海リニア(Maglev)と地下鉄2号線で行くルートがあります。Maglevは、片道50CNYしますが8分で到着するため、課金がオススメです。ちなみに、運転間隔は20分で毎時0.20,40で出発します。また、席は自由席ですので、早いもの順です。

### 浦东1号2号航站楼站(上海浦東空港駅)

自9月1日起，磁浮线列车运行班次调整如下：  
上海轨道交通磁浮线班次时刻表

始发站	班次	发车时刻	终点站
龙阳路站	第1班	06:45	浦东1号2号航站楼站
	第2班	07:05	
	第3班	07:25	
	第4班	07:45	
	第5班	08:05	
	第6班	08:25	
	第7班	08:45	
	第8班	09:05	
	第9班	09:25	
	第10班	09:45	
	第11班	10:05	
	第12班	10:25	
	第13班	10:45	
	第14班	11:05	
	第15班	11:25	
	第16班	11:45	
	第17班	12:05	
	第18班	12:25	
	第19班	12:45	
	第20班	13:05	
	第21班	13:25	
	第22班	13:45	
	第23班	14:05	
	第24班	14:25	
第25班	14:45		
第26班	15:05		
第27班	15:25		
第28班	15:45		
第29班	16:05		
第30班	16:25		
第31班	16:45		
第32班	17:05		
第33班	17:25		
第34班	17:45		
第35班	18:05		
第36班	18:25		
第37班	18:45		
第38班	19:05		
第39班	19:25		
第40班	19:45		
第41班	20:05		
第42班	20:25		
第43班	20:45		
第44班	21:05		
第45班	21:25		
第46班	21:45		

2023年8月28日

▲時刻表



▲Maglev改札  
荷物検査が必須



▲大きな上海メトロのロゴが目印



▲地下鉄改札  
中国では地下鉄でも荷物検査がある。  
(引っかかることはまずない)

# アクセス情報

## ■公共交通機関を利用する場合

### 龙阳路站(Longyang Road, ロンヤンルウ)

龙阳路站は、地下鉄2,7,16,18号線,Maglevの5路線が乗り入れるデかめの駅です(場所は街はずれ)。ここで地下鉄16号線に乗り換えが必要になります。地下鉄なのに地上に駅があるのが注意点ですが、龙阳路站が16号線始発駅なので何に乗ってもOKです。16号線は8割近く地上を通るのでひたすら中国の田舎の車窓が楽しめます。(私は半分寝てました。)



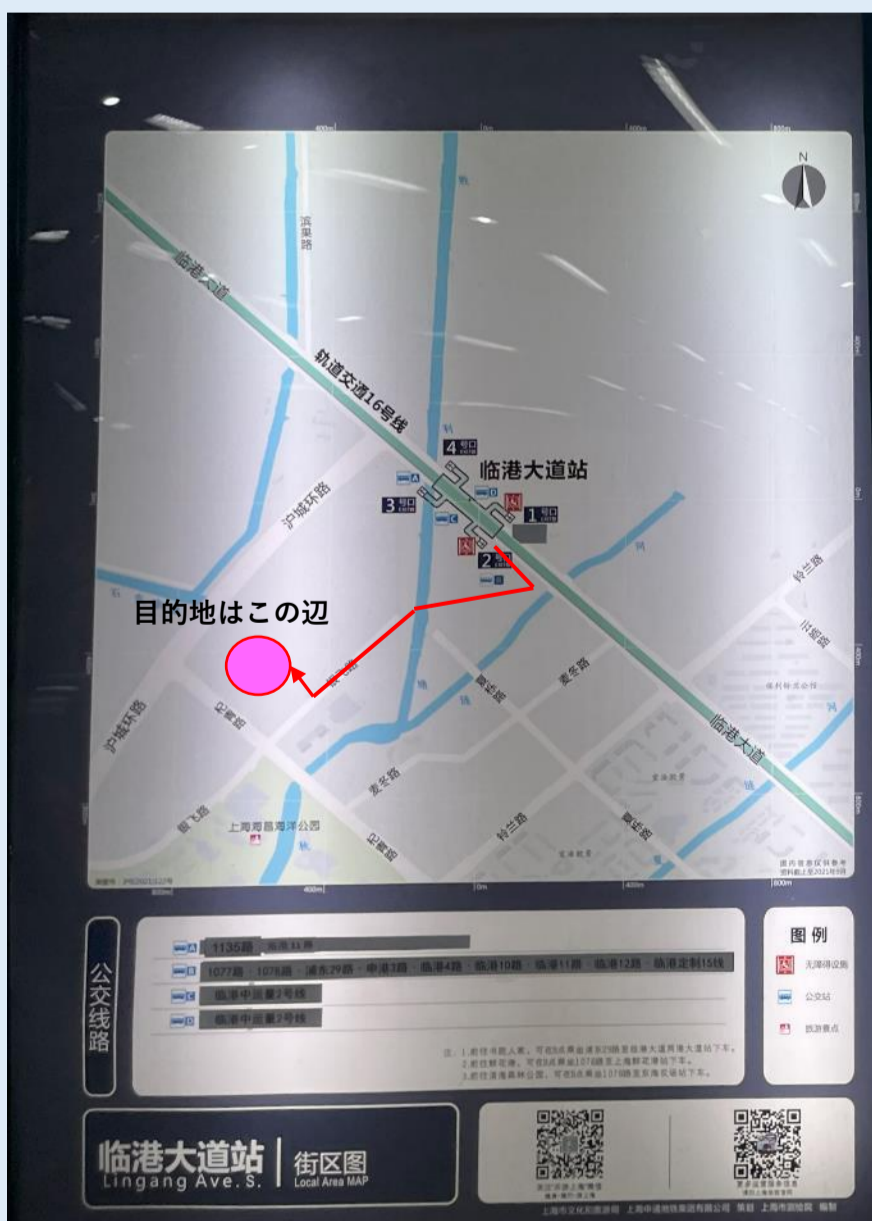
▲16号線乗り場



▲16号線乗り場

### 临港大道站(Lingang Avenue, リンガンダーダオ)

耀雪冰雪世界の最寄り駅は临港大道站です。駅は地下鉄なのに2面4線あり広いですが、まあ駅周辺は田舎で何もないです(おっちゃんが家庭用コンロで焼いた謎ソーセージを売ってるくらい田舎)。2号出口から出るのがおすすめです。

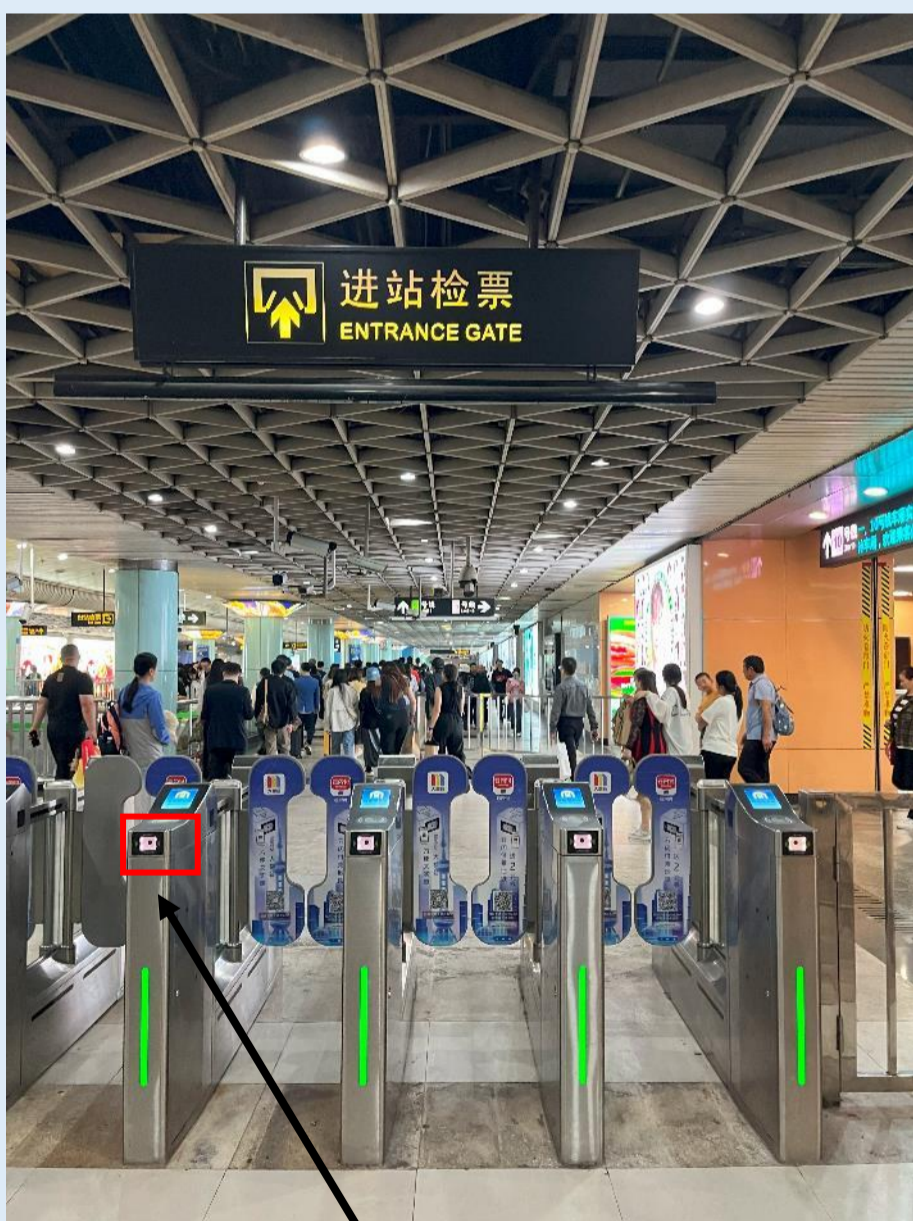
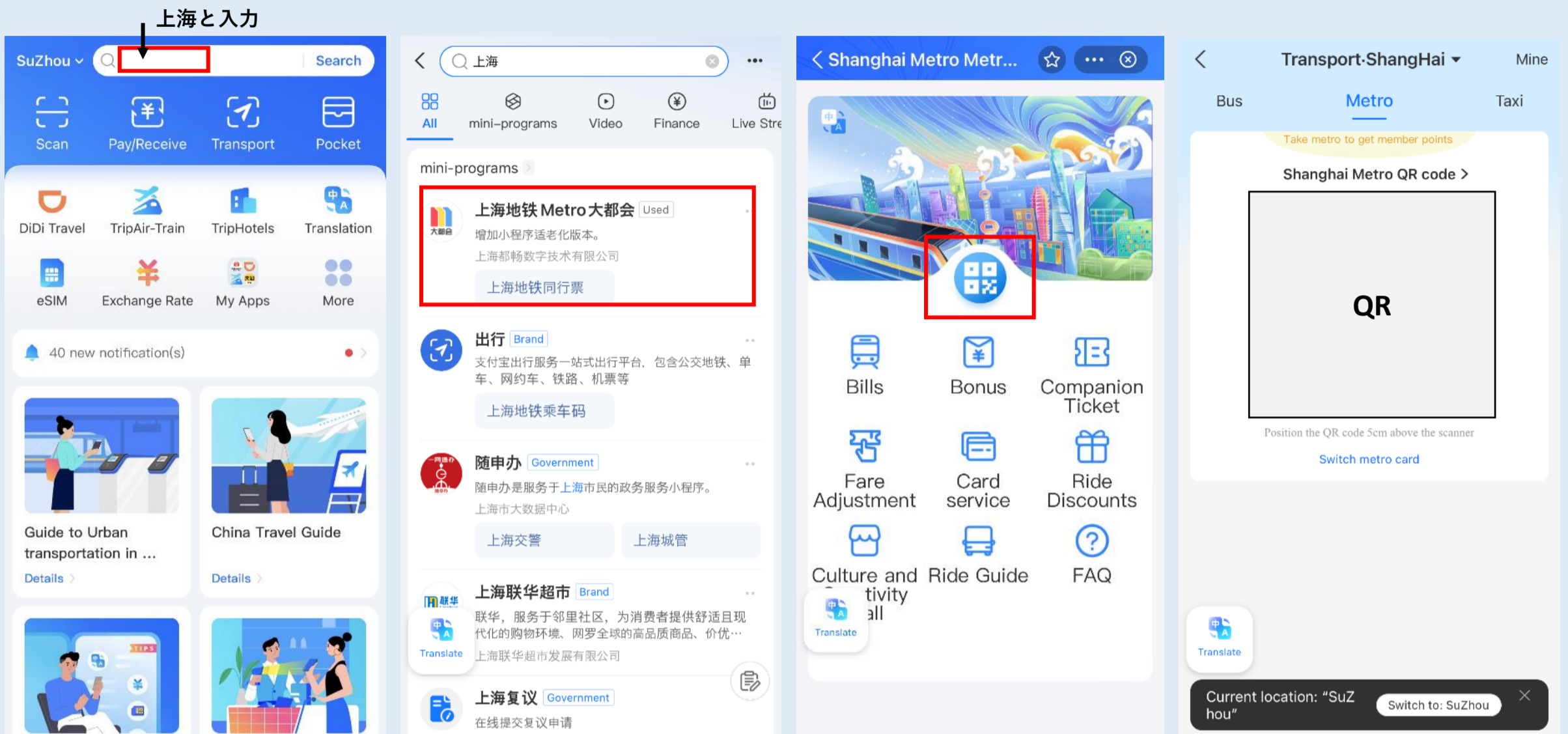


▲临港大道站(構内図)

# アクセス情報

## ■上海メトロの使い方

上海メトロを乗り回すためには、Alipayが便利です(交通カードなんかもあります)。アプリの使い方は簡単でAlipayを開いて検索画面に上海と入力し検索。そこで表示されるMetro大都会をタップしてパスポート情報など必要な情報を登録すればQRコードが表示されるので、そのQRコードを改札にスキャンするだけで乗ることができます。地下鉄には券売機もありますが、地下鉄を乗り回す方は券売機での購入は面倒なのであまりお勧めしません。



QRコードスキャン

▲地下鉄改札口(2号線南京東路駅)



▲非常にごつい地下鉄券売機

# アクセス情報

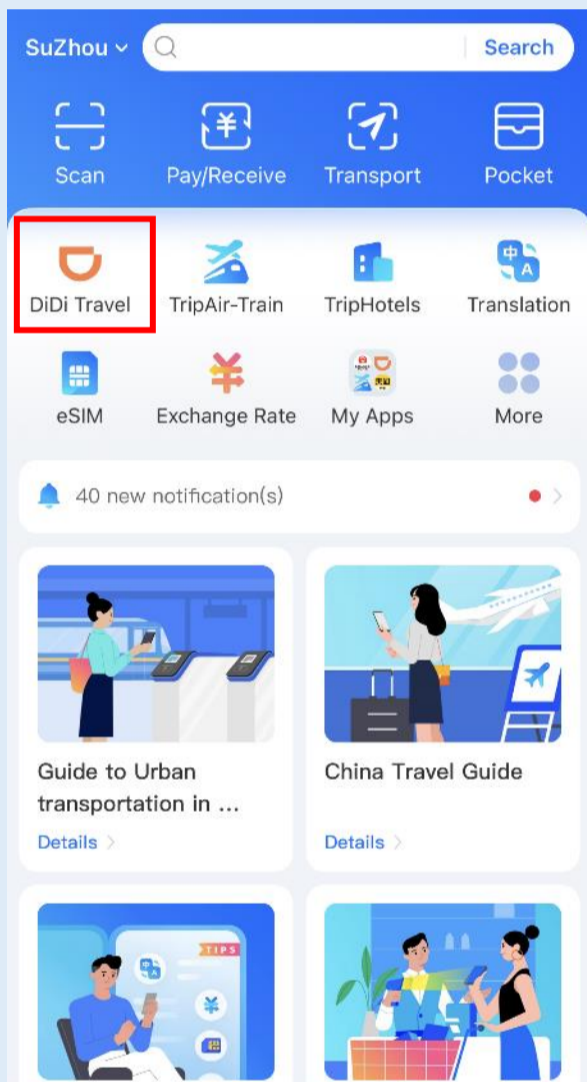
## ■タクシーor配車アプリを利用する場合



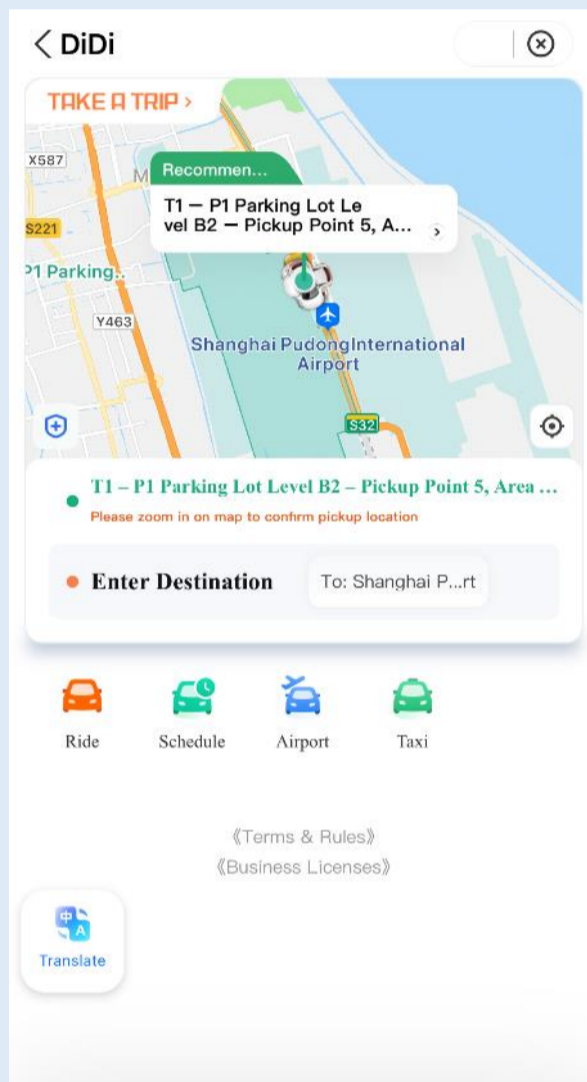
中国ではタクシー乗車はおすすめしません。中国版配車アプリDiDiを使うことをおすすめします。使い方はかなり簡単でAlipayから配車することができます。Alipayを開くとDiDi Travelのアイコンがあるのでそれをタップします。タップしたら地図が表示されるので、緑文字(locating)の場所に乗りたい場所を設定。オレンジのEnter Destinationに目的地を入力します。すると③の画像のように選択欄があるので、好きなものをタップします。価格に吊られて、Discount Expressを選ぶと相乗りになるので、いやな方は無難にExpressをおすすめします。ちょっとリッチな方はPremierなどを選んで良いと思います。

乗車する車が決まると車ナンバーが表示されるので、車が到着したらナンバーを確認して乗車します。だいたい3分ぐらいで配車した車が到着するので、使いたいときに手配するのでベストです。

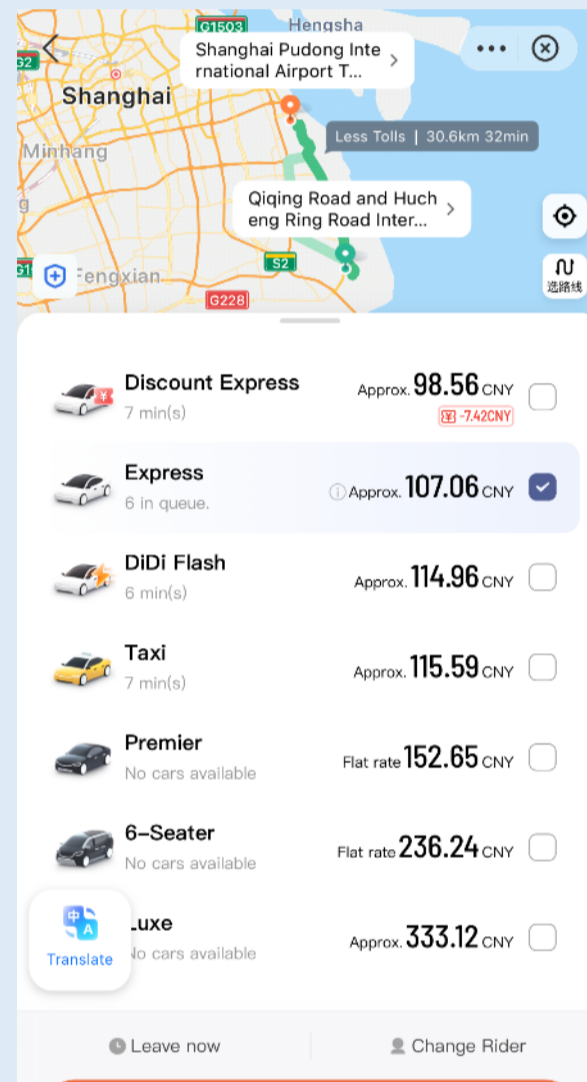
車に乗り込んだら「你好。電話番号下四桁」を伝えとスムーズですので、中国語でいうことをおすすめします。基本的にこちらから話さない限り乗車中はドライバーとの会話はないのでぼっちでも余裕です。乗車時に「●●まで行くのか？」や「シートベルト締めろ」などいわれる可能性がありますが大体ニュアンスでわかると思うので、そこはノリで乗り切ってください(適当)



▲①



▲②



▲③



▲④

# 1.FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT



▼山麓停留所



▼山頂停留所



## 線路諸元

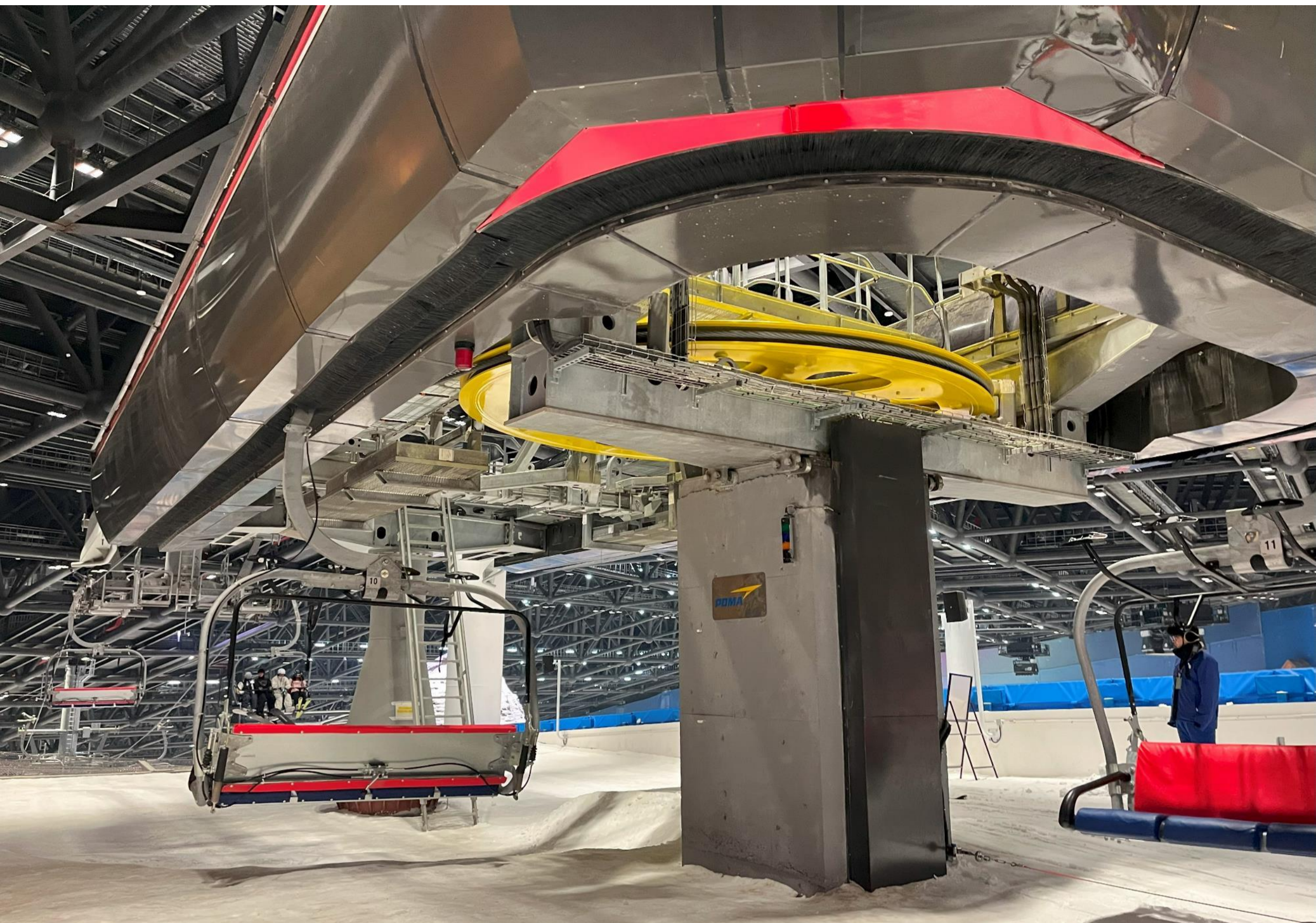
名称：飞雪缆车(FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT)

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	約300 m
高低差	約60 m
輸送能力	2,400 p/h
回轉方向	時計
支柱数	6 基
速度	5.0 m/s(營業運転2.0m/s)
定員	4 名
搬器	-
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	-
運行開始年月	2024年9月
メーカー	POMA

# 1. FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT



# 1. FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT

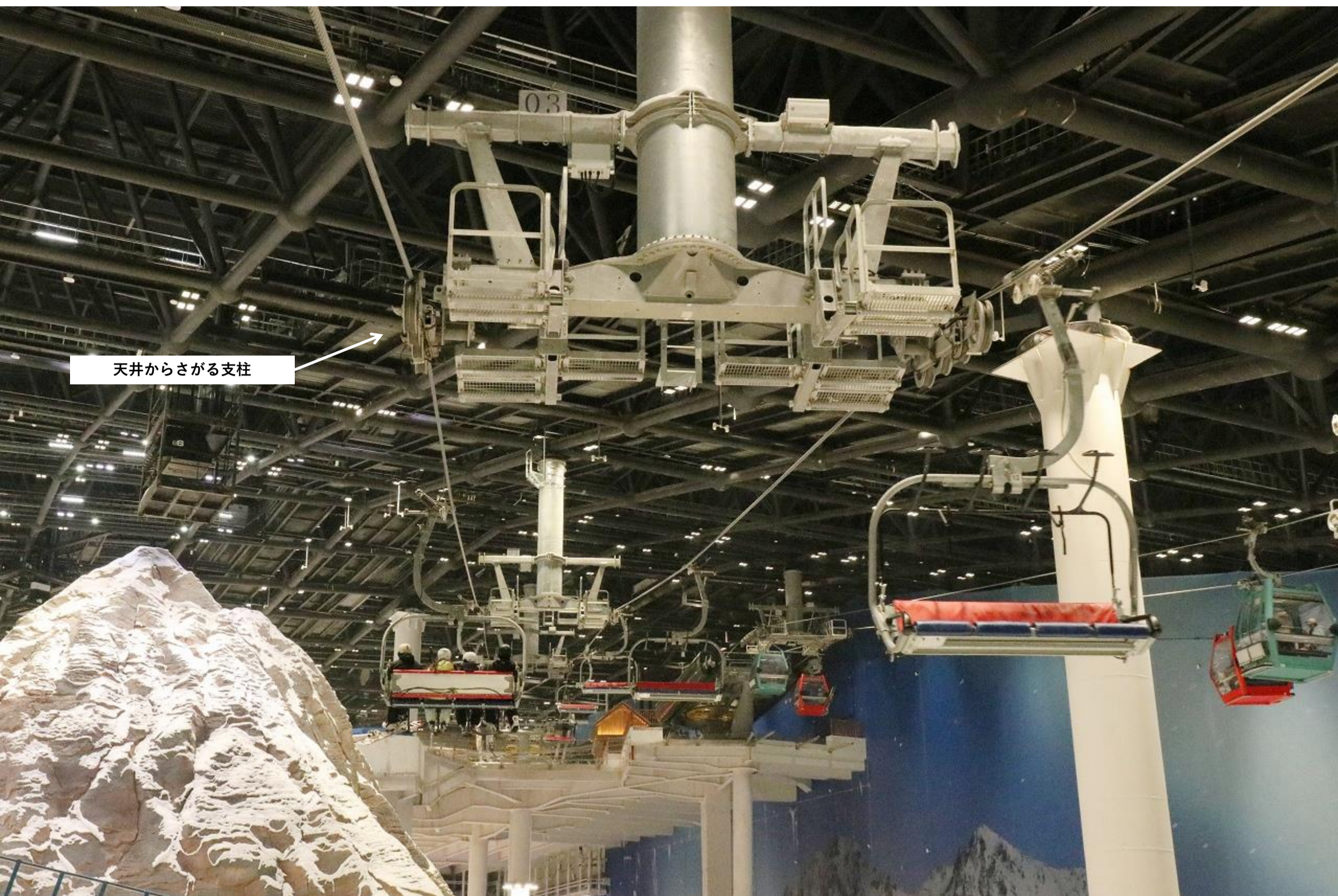


# 1.FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT





# 1. FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT



# 1. FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT



# 1.FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT



c:Red Trail

b:Bule Trail

# 1. FLUTTERING SNOW CHAIRLIFT



スノーアクティビティエリア3F

## 2. SNOW MOUNTAIN GONDOLA



### 線路諸元

名称：雪山缆车(SNOW MOUNTAIN GONDOLA)

方式	単線自動循環式普通索道
傾斜長	約300m
高低差	? m
輸送能力	2,400 p/h
回転方向	時計
支柱数	4 基
速度	? m/s
定員	8 名
搬器	Diamond Cabin
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	-
運行開始年月	2024年9月
メーカー	POMA

### 屋内スキー場にある自動循環式”ゴンドラ”

2024年9月より一般営業開始した、室内スキー場のゴンドラ。恐らく世界で初めての室内スキー場のゴンドラであり、一般的なスキー場でも見られる本格的な8人乗りゴンドラ。ゴンドラメーカーはPOMA社であり、カラフルなDiamond Cabinは屋内スキー場の雰囲気と非常にマッチしている。



## 2. SNOW MOUNTAIN GONDOLA



### 搬器諸元

名称：雪山缆车

定員 8名

台数 ?台

自重 640kg

メーカー POMA

タイプ Diamond Cabin

製造年月 ?

握索機 LPA



## 2. SNOW MOUNTAIN GONDOLA

### 山麓停留所

▼機械カバーはなく機構丸出しのため、索ヲタ大喜び



▼ゴンドラは3Fから発車する



## 2. SNOW MOUNTAIN GONDOLA

### 山麓停留所



▲ゴンドラは3Fより発車する  
3Fにはエスカレーター or エレベータを利用する



▲スキーコースのスペースを最大限に確保するため、1号支柱基礎は壁にあり支柱も斜めになっている。



▲ゴンドラ駅に向かうエスカレーター

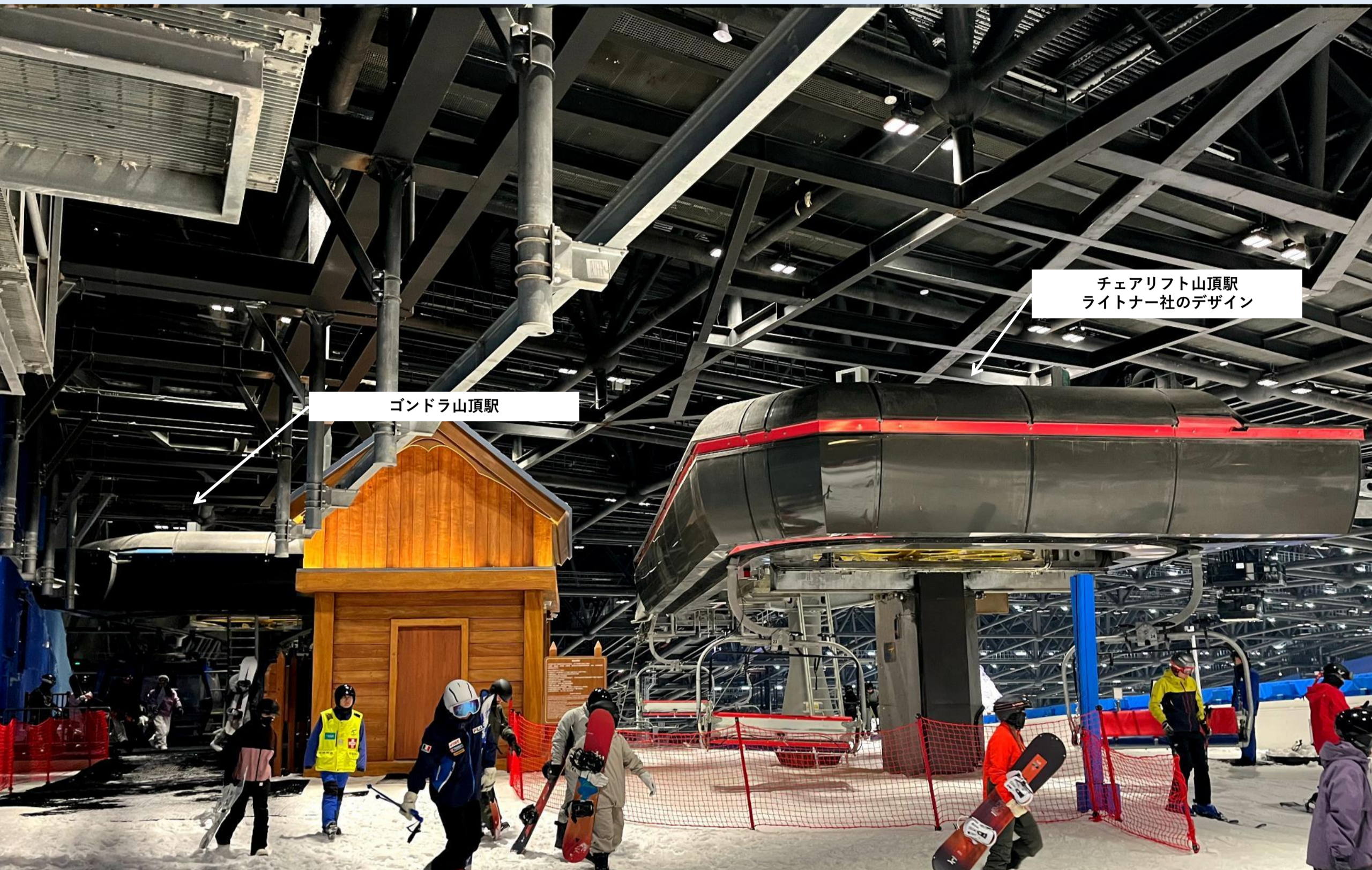


▲ゴンドラ山麓駅



## 2. SNOW MOUNTAIN GONDOLA

### 山頂停留所



チェアリフト山頂駅  
ライトナー社のデザイン

ゴンドラ山頂駅



ゴンドラ山頂駅

## 2. SNOW MOUNTAIN GONDOLA



## 2. SNOW MOUNTAIN GONDOLA



## 2. SNOW MOUNTAIN GONDOLA

